



ONE ROOF

# こころだより

2020年5月

社会福祉法人東京児童協会 すみだ中和こころ保育園

〒130-0024 墨田区菊川 1-18-5

TEL 03-6666-9449 FAX 03-6666-9446

はじめに、新型コロナウイルスに感染され、尊い命をなくされた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。そして、一日も早く感染拡大が止まり、収束へと向かい、社会が元に戻り、穏やかな日々を送ることが出来ますよう強く願うばかりです。

保護者の皆様におかれましては、このような新年度の始まりに大きな不安を抱えていることと思います。在宅ワークと子育てが大変な状況の中でも私たち職員の体調などを気に掛けて Kindy やお電話などで労いのお言葉をいただいたり、マスクを職員にとご持参して下さったりと保護者の皆様の温かい気持ちに触れ、改めて運営に関してのご理解とご協力に感謝しております。子どもたちからの手紙には「こいのぼりありがとう」「はやくほいくえんにいきたい」など子どもたちの想いが詰まっていました。職員は子どもたちとの日常生活を迎えるまで保育の準備をすすめています。

園行事の見通しがつかない状況ですが、まずは感染の収束を願い、引き続き以下の衛生管理を徹底し安心・安全を第一に運営していきます。

- ・ 毎日の健康観察を行うこと（毎朝の検温確認）
- ・ 手洗いや咳エチケットの健康教育を行うこと
- ・ 清掃等の環境衛生を良好に保つこと（入口やノブ、手が触れるガラス面）
- ・ 換気、空間除菌を行うこと（水成二酸化塩素 ブロッケンウォーターを使用）
- ・ 職員はマスクの使用を行うこと
- ・ 給食の実施にあたり、配膳やランチルームの際の席の工夫を行うこと
- ・ 教育活動の内容や方法を工夫すること
- ・ 行事の日程や内容を工夫すること

今までの日常がいかに大切であったかを思い知らされている今日この頃ですが、このような状況だからこそ園・ご家庭・地域の皆様とが強い絆でつながり、「生きる力・思いやり・夢」が詰まったすみだ中和こころ保育園でありたいと思います。また、Kindy クラス投稿で何かありましたらご連絡をさせていただきます。クラス担当の職員より子どもたちが楽しめる遊びなども配信していけたらとも思います。子どもたちと保護者の皆様、私たち職員が健康であることが一番大切です。お身体にお気を付けてお過ごしください。

## <法人各園の取り組み>

新年度を迎え、通常の園の運営が困難になり一か月が過ぎました。この期間に当法人の菊地政幸理事長より「保育園、こども園は社会の基盤を支える役目であること。今、家庭で過ごしている子どもに対しても保育を提供したい」という想いのもと、おうちで作って飾れる「こいのぼりセット」「紙相撲」などを送らせていただきました。休園期間が延長しましたので今後も子どもたちが楽しめる制作などをご家庭に届けられたらと思います。

園長 河野 舞衣子



# ほけんだより

2020年5月発行  
すみだ中和こころ保育園

先月は、登園自粛にご協力下さり本当にありがとうございました。子どもたちは、本来ならばご入園・ご進級から1か月が経ち、新しい環境に慣れてくる時期です。しかし長い自粛生活、いつもと違う環境の中で親子共々、疲れが出て体調を崩しやすいかもしれません。どうか少しずつ生活のリズムを整えながら、皆さまが心地良い毎日を過ごせますように。

## 園医の先生のご紹介

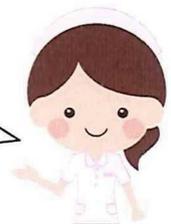
HPでは掲載を控えさせていただきます。

HPでは掲載を控えさせていただきます。

皆さん最近、笑っていますか？笑うことでの効果は…

- ・副交感神経が優位になり、血圧を下げてリラックスできる。
- ・脳の活性化につながる。
- ・笑顔にセロトニン（幸せホルモン）が反応する。
- ・NK細胞が活性化にし、免疫力が高まる。

沢山笑って この難局を乗り切りましょう！



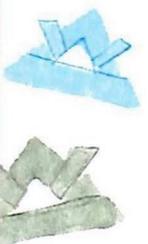
## 【お願い】

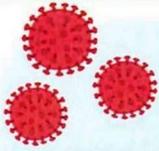
園での感染症予防対策の一環として速乾性アルコール消毒薬を幼児玄関外、乳児玄関内に設置しております。来園者全員に手指消毒を行っていただき、今まで以上に感染予防に努めてまいります。

尚、小さなお子さまが使用する際には、必ず保護者の方が付き添いお手伝いをお願いします。また、消毒薬がお顔にかからないようにご注意ください。園では、子どもたちに消毒薬を使用する時のルールを伝えています。ご家庭でもお子さまに必要性などお話しして下さればと思います。

## お知らせ

HPでは掲載を控えさせていただきます。





## 新型コロナウイルス対策～食材の取り扱いについて～

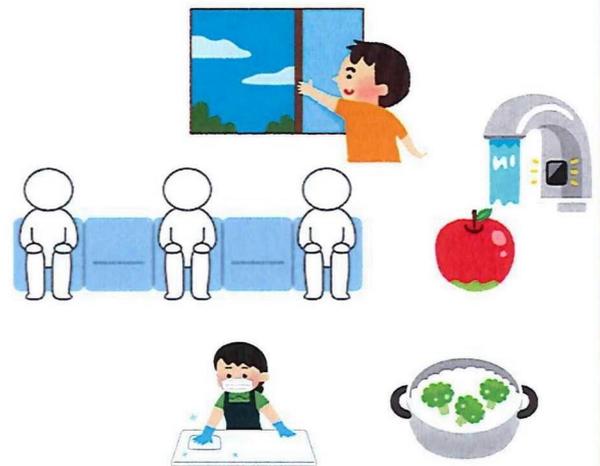
厚生労働省では、2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。コロナウイルスは熱（70度以上で一定時間）及びアルコール（70%以上、市販の手指消毒用アルコールはこれにあたります）に弱いことがわかっています。料理をする際は、こまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。

WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

※厚生労働省 HP 参照

### 園の給食での取り組みについて

- ・ランチルームの換気、消毒、手洗いの徹底、手指消毒
  - ・子どもたちが、密にならないように間隔を空けて着席
  - ・生野菜の提供中止（一度加熱して提供しています）
  - ・果実提供の際は、流水で十分に洗浄してからの提供
- ※当面の間、食育活動は中止



## 子どもの達の口の中が大変な事になっている？

### ～歯と歯の間にすき間が必要～

近年、「歯並び」に関する通院患者が増えているといわれています。歯列を含めた口や顔、顎の成長不足で歯並びが悪くなり、大人になった時に歯周病の発症率が上がってしまいます。正常な歯や顎の発達のためには、乳歯の時期に“すき間”がある事が大切です。

乳歯よりも大きい永久歯が生えてくるためには、上顎の乳歯と永久歯の大きさの差は平均7.66mm必要とされています。不足すると、歯並びが悪くなってしまいます



すき間が8mm以上  
ある良い！



乳歯から永久歯



では、永久歯が生えそろう6～7歳までに、乳歯にすき間ができるかはどうやって決まるのでしょうか？歯列の成長には「噛む」という運動が必要です。細かく刻まれた柔らかい食べ物ではなく、歯列や顎に負荷がかかる硬さの物、前歯でかぶりつくような食材を食べることが大切です。ご家庭でも子どもたちの口の中の成長を確認して、歯や顎を使って“よく噛んで食べる献立”を積極的に取り入れてみて下さい。

※乳児は各年齢に合わせて、食材の大きさや提供方法に配慮しましょう。